令和３年度　林業普及週間現地情報（７/25～８/31）

森林管理課

「くるちの杜100年プロジェクトin読谷」の活動への参加

７月25日（日）

令和３年７月25日、「くるちの杜100年プロジェクトin読谷」の保育作業に参加し、枝打ちの方法等について指導を行った。

本プロジェクトは、「100年先の子どもたちへ沖縄県産のくるち(クロキ)でできた三線の音を届けよう」という目的の下、2012年10月20日から開始されたもので、クロキの植栽や保育活動等を行っている。

今回は、新型コロナウィルスの影響もあり、一般参加者は除き、三線職人や演奏家たち23名による保育作業であった。

今回は、本プロジェクトの筆頭賛同人の平田大一さんや、沖縄県三線製作事業協同組合の事務局長である仲嶺幹さんがプロジェクトの経緯や目的等の説明を踏まえ、保育作業を指導した。

元ＴＨＥ　ＢＯＯＭのボーカリストで、アーティストである宮沢和史さんは、ＷＥＢで参加しており、「三線職人、沖縄音楽に関わる方々、沖縄の林業に関わる方々とも意見を交換し、どのような道筋をたどっていけば、木材や人材が循環･継続していくのか考えることが大事。また原料となる木材が枯渇し値段が高くなると、三線製作に失敗ができなくなるため三線職人の若手が育たなくなったり、どの木で作っているのかわからない安価な三線の購入が進んで三線職人の生活が厳しくなる状況を避けるためにも、くるちの木を次代に残したい。」等の説明を行っていた。

また、県の林業普及指導員から保育作業にあたっての枝打ちの方法について指導を行った。

林業普及指導員による枝打ち指導

保育作業後の記念撮影

（報告者：森林管理課　仲里）